

## Ⅶ 令和5年度 学校運営連絡協議会実施報告

### 1 組織

(1) 都立羽村特別支援学校 学校運営連絡協議会

(2) 協議委員の構成

協議委員（13名）

明星大学教育学部 教育学科教授	島田 博祐 様
株式会社 パソナハートフル 副社長執行役員	白岩 忠道 様
就労支援アドバイザー	若杉 哲文 様
青梅公共商業安定所統括職業指導官	三崎 宏 様
友愛学園児童部副施設長	石川 淳 様
瑞穂町障害者就労支援センター センター長	西出 英高 様
羽村市緑が丘三丁目自治会長	平 辰男 様
あきる野司法書士事務所 司法書士	石井 寛昭 様
羽村市教育委員会生涯学習部 教育支援課長・教育相談室長	羽村 一敏 様
西多摩保健所対策課長	村上 邦仁子 様
警視庁福生警察署生活安全課 スクールサポーター	江口 信 様
羽村特別支援学校 PTA 会長	渡部 美由紀 様
羽村特別支援学校 PTA 副会長	海宝 達男 様

内部委員（12名）

東京都立羽村特別支援学校 校長	外山 裕介
東京都立羽村特別支援学校 副校長	西村 孝法
東京都立羽村特別支援学校 副校長	有馬 宏子
東京都立羽村特別支援学校 経営企画室長	原 誠一
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭（事務局）	田中 孝志郎
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭	二方 宏和
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭	神 圭一郎
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭	中野 智恵美
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭	遠藤 洋子
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭	三上 博史
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭	結城 幸太郎
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭	小川 竜司

評価委員（3名）

明星大学 教育学部 教育学科 教授	島田 博祐 様
友愛学園児童部 副施設長	石川 淳 様
東京都立羽村特別支援学校 PTA 会長	渡部美由紀 様

### 2 令和5年度学校運営連絡協議会の開催日時及び概要

#### 第1回

令和5年6月13日（火）

- (1) 令和4年度 学校経営報告についての御意見
- (2) 令和5年度 学校経営計画についての御意見
- (3) 令和5年度 学校評価についての御意見

※第1回は会議の前に30分間評価委員会を開催。

#### 第2回

令和5年11月8日（水） 午後1時30分から午後3時30分まで

- (1) 授業見学
  - (2) 令和5年度学校経営計画進捗状況の報告
  - (3) 学校評価の中間報告及び回収率等
- ※第2回は会議の後に30分間評価委員会を開催。

第3回

令和6年2月2日（金）

- (1) 学校評価報告についての御意見
  - (2) 今年度の学校運営についての御意見
- ※第3回は会議の前に30分間評価委員会を開催。

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価

#### 1 保護者アンケート回答率・項目と評価

(※回答率は、児童施設入所生徒(措置)の数を母数から差し引いて計算しています。)

回答率\学部	小学部	中学部	高等部	全校
今年度	56.0%	53.9%	46.6%	52.2%
4年度	71.3%	70.3%	58.5%	65.6%
3年度	71.4%	67.0%	39.2%	56.6%

アンケート項目に対して、回答者が設問ごとに下表の評語に沿って回答いただいたものを評価として表しています。

評語	4	3	2	1	0
説明	はい そう思います	はい どちらかといえばそう思います	いいえ どちらかといえばそう思いません	いいえ そう思いません	わかりません

番号	設問内容	保護者 (総回答数236件)					教員 (総回答数165件)				
		4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
1	学校は安全だと思いますか？	122	103	5	3	3	55	99	8	1	2
		95.3%					93.3%				
2	学校は子どもたちの健康を大切にしていますか？	152	76	4	2	2	111	49	4	0	1
		96.6%					96.9%				
3	学校は子どもたちの人権を守っていますか？	129	93	4	4	6	83	74	4	0	4
		94.0%					95.1%				
4	学校の勉強は子どもたちの力になっていますか？	160	66	5	2	3	82	78	2	0	3
		95.7%					96.9%				
5	学校の進路指導や進路に関する情報はわかりやすいですか？	97	87	23	3	26	54	80	15	1	15
		78%					81.2%				
6	学校行事の内容は良いですか？	120	89	10	3	14	61	76	20	3	5
		88.5%					83.0%				
7	学校の個人情報の取り扱いが良いですか？	158	59	3	3	12	79	76	6	2	2
		91.9%					93.9%				
8	学校からの情報発信は良いですか？	143	75	12	1	2	77	73	4	1	10
		92.3%					90.9%				
9	学校の会計処理は適切に行われていますか？	148	45	3	0	24	104	41	0	1	19
		81.7%					87.8%				
10	学校の地域支援や副籍交流などの取り組みは進んでいますか？	76	86	12	3	59	74	60	6	2	23
		68.6%					81.2%				
11	【教職員のみ】 学校はワーク・ライフバランスの実現を図っていますか？						35	73	33	12	12
							65.4%				

【学部別の数値】

番号	設問内容		保護者 (総回答数 236件)				
			4	3	2	1	0
1	学校は安全だと思いますか？	小	38	38	0	0	3
		中	28	30	2	1	0
		高	56	35	3	2	0
2	学校は子どもたちの健康を大切にしていますか？	小	54	24	0	0	1
		中	37	21	1	1	1
		高	61	31	3	1	0
3	学校は子どもたちの人権を守っていますか？	小	47	29	1	0	2
		中	30	28	1	2	0
		高	52	36	2	2	4
4	学校の勉強は子どもたちの力になっていますか？	小	60	18	0	1	0
		中	42	17	1	0	1
		高	58	31	4	1	2
5	学校の進路指導や進路に関する情報はわかりやすいですか？	小	27	31	6	1	14
		中	25	22	7	0	7
		高	45	34	10	2	5
6	学校行事の内容は良いですか？	小	40	34	1	1	3
		中	36	22	2	0	1
		高	44	33	7	2	10
7	学校の個人情報の取り扱いは良いですか？	小	54	19	1	0	4
		中	38	19	0	0	4
		高	66	21	2	3	4
8	学校からの情報発信は良いですか？	小	49	25	4	0	0
		中	39	17	4	0	1
		高	55	33	4	1	1
9	学校の会計処理は適切に行われていますか？	小	40	11	1	0	11
		中	42	15	0	0	4
		高	66	19	2	0	9
10	学校の地域支援や副籍交流などの取り組みは進んでいますか？	小	26	27	5	1	20
		中	16	27	1	1	16
		高	34	32	6	1	23

2 令和5年度学校評価アンケート (まとめ・自由意見に対する見解)

1 安全

児童・生徒の安全について、生活指導部を中心に様々な安全指導を行っております。今年度は、年度の前半に安全指導や防災に関する学びの場を設定し、年間を通して見守りなどを行ってまいりました。いただいた御意見を踏まえて、今後も引き続き児童生徒の安全について不断の努力を継続していく必要があると考えております。

2 健康

今年度は昨年5月より新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類へ移行となり、通常の学校生活や社会生活が取り戻してきた年となりました。しかし、感染症そのものの健康への影響や学校をお休みしなくてはならない期間の御家庭での対応などは引き続き学習活動を行う上で考慮しながら進めていくことを考えております。本校としては、国や都の教育現場にて求められる感染対策を実施しながら一つ一つの事柄に対応してまいります。

3 人権

今年度は、教員の体罰事案の発生から臨時の保護者会やその後の対応として、教職員の体罰防止に関する研修を行ってまいりました。保護者の皆様の思いを大切に、今後も一人一人の児童・生徒が、学校生活の中で安心して学習に取り組んでいけるよう教職員の人権意識の醸成を継続してまいります。

#### 4 学習

今年度は、特別支援学校での特色のある学びである、生活単元学習や作業学習などの「各教科等を合わせた指導」について校内での研究・研修を重ね、新たな学びを設定できるようにしてきました。また、ICTを活用した学習については、小中学部のデジタル活用端末や高等部1年生と2年生に昨年から導入されたスマートスクール端末を活用して、児童生徒の実態に応じた学びの在り方についても研修を重ねていきました。

#### 5 進路指導

小中学部の保護者の方々の評価から「分からない」という評価を多くいただきました。高等部段階になるとインターンシップや現場実習、卒業後の進路に関わる説明会などがあり、進路情報がより身近なものとなりますが、小中学部段階においても、将来を見据えて今から考えたり、家庭での取り組みを作ったりできるような情報発信がさらに必要であると感じました。小中学部段階においては、児童生徒が身の回りのことを自分でできることを意識し、できることを少しずつ増やすこと（ライフキャリア）が大切であることから、この点の取り組みを充実させていけるようにしてまいります。

#### 6 学校行事

学校行事は体育的行事や文化的行事、宿泊行事やその他儀式的行事など学校の学びの中で大切な役割もっています。日常の中で育まれた力を発揮したり発表したりする中で、児童生徒は自らの成長を実感します。このような学校行事がコロナ渦には失われたものがあった一方、教職員の工夫が凝らされた取り組みも生まれました。宿泊行事の宿泊先については、宿泊先で高熱を出すような感染症になった場合の保護者のお迎えを要請することの可能性などについて議論を重ねながら、アフターコロナの行事の在り方を検討していきます。

#### 7 個人情報

個人情報については情報が流出しないよう最大限留意しております。地域に開かれた学校を目指し、教育活動やうれしい出来事などの情報を発信する場合についても、児童・生徒の安全が損なわれたり不利益が生じたりしないよう十分に配慮していきます。

#### 8 情報発信

今年度はX(旧Twitter)による発信や学校ホームページ上から欠席連絡をしていただけるような取り組みをはじめ、保護者の皆様の状況を想像しながら情報発信の在り方について検討を進めてまいりました。

#### 9 会計処理

今年度はアンケート結果では、「わからない」と回答された方が24名おり、81%の肯定意見となっておりますが、保護者の方にとって学校との間での会計上はほぼ大きな問題はなかったと思われます。学校の教育活動におけるお金は都民の税金からのものであること、就学奨励費などの会計は特別支援教育にとって非常に重要なものであることを今後も研修等で教職員がその理解に努めてまいります。

#### 10 地域支援

今年度も、学校教育活動の中でヒノトントンZOO(羽村市動物園)や羽村団地、羽村市リサイクルセンター、羽村市内のショッピングセンターなど地域の皆様に御協力をいただきながら、児童・生徒が赴いて、手伝いを申し出たり、作業の一部をさせていただいたりする地域貢献活動を推進してまいりました。子供たちが地域の中で役割をもちながら卒業後を見据えたキャリア教育を推進していきます。

#### 4 学校運営に関する協議委員の見解

(1) 協議委員人数 13人

(2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
6	3	1				3

(3) 協議委員の意見及び改善案（抜粋）

項目	課題	対応や改善について
児童・生徒の実態を捉えたコミュニケーション	様々な問題の原因は、児童・生徒とのコミュニケーションの難しさから、発生している可能性が高い。	○実態を把握する方法の理解（研修・アセスメント） ○コミュニケーション・モードの理解
「高等部の生活」について	制服について ・夏季のネクタイ・リボン着用 ・標準服という扱いについて  ・オールシーズンのズボン・スカートの採用について ・体育着の着用について  ・「茶髪」の表記について	・儀式時の着用について検討していく。 ・今後も標準服とし、購入先や購入方法についても複数提示できるようにする。 ・業者と協議し、検討していく。  ・洗濯等の理由で、指定の体育着が着用できない場合の対応について、保護者に周知する。 ・髪の色については、表記しない。
学校評価	・易しい日本語について ・高等部生徒用の内容 ・具体的な取り組み	・電子と紙のハイブリッドの継続 ・分かり易さ、提出し易さ ・学校評価の保護者意見欄へ回答の反映
SNSによる指導	主に高等部での生徒の利用、事故などに巻き込まれないためにどうするか。	・SNS活用の授業促進
キャリア教育 ライフキャリア	小学部から高等部まで、キャリア教育の実践を行えるとよい。学部を超えて、系統性をもったキャリア教育の実施はどうか。	・小学部から、進路説明会の設定 ・日常生活の指導の手引きを活用し、ライフキャリアの定着をはかる。

5 その他

学校評価のアンケートの項目、提示の仕方等については、令和6年度の第1回学校運営連絡協議会で協議を行い、スムーズに学校評価を進め学校経営に生かしていく。